

映画史上初!!

驚異の90分ワンカットの映像

この扉を通るもの

帽子とすべての官位身分の誇示

傲慢さを捨て去るべし

そして陽気であるべし

エカテリーナ大帝

カンヌ国際映画祭2002コンペティション部門出品

エリザベータ・ジュン幻想

監督

アレクサンドル・ソクーロフ

特別出演

マリリー・ゲルギエフ

パンドラ・記録

2002年のカンヌ国際映画祭は前代未聞の映画の話題でもちぎりだった。映画史上、誰もなし得なかつた90分ワンカット、しかも世界遺産〈エルミタージュ美術館〉の内部で撮影された映画が上映されたからだ。その見事な完成度に、集まった世界の映画人は、手放しでこの映画『エルミタージュ幻想』を迎えた



© 2002 Hermitage Bridge Studio and Egoli Tossell Film AG

美の迷宮を彷徨う

過去と現在、うつつと幻想が交差する不思議な時間旅行。旅するのは現代の映画監督と19世紀フランスの外交官である。このふたりが、ラファエロ、ダ・ヴィンチ、レンブラント、エル・グレコなど超一級的美術品が展示されたままのエルミタージュの中を彷徨う中で、ロシア300年の歴史が綴られてゆく。エルミタージュという壮大な迷宮の華麗な回廊や内装の数々を堪能し、世界的マエストロのワレリー・ゲルギエフ指揮による演奏をバックに繰り広げられる華麗な舞踏会に陶酔する。まさに美のジェットコースター!! 言葉にあらわしようのない強い印象と感動を残し、見るたびに新しい発見を与えてくれる贅沢な映画である。

世界遺産〈エルミタージュ美術館〉

ロシア、サンクトペテルブルクにある所蔵品300万点を超える世界最大規模の美術館。ロマノフ王朝期の18世紀、エカテリーナ大帝によりその基礎は作られた。パリのルーヴル美術館の30万点、NYメトロポリタン美術館の200万点と比較してもその規模を理解できる。一つの作品に1分間立ち止まると全てを見終るのに5年間は掛かると言われている。また、緑色の外観の建物そのものが第一級の芸術品であり、世界遺産としてユネスコから認定されている。

アレクサンドル・ソクローフ監督——ソ連時代は全作品公開禁止!!

現代ロシアを代表する映画監督。ベレストロイカまでその作品はすべて上映禁止処分を受けていたが、ソ連邦崩壊に伴い旧の目をみた作品群は、一気に彼を世界舞台に引き上げた。1995年ヨーロッパアカデミーより(ヨーロッパで最良の映画監督)の一人に選ばれ、1998年にはバチカンより顕彰された。代表作に「日陽はしばしに発酵し…」「静かなる一頁」「ロシアン・エレジー」など。

「Очень красиво!!」

(とても美しい!!)

私に飛び込んできた美しいSTORY

あまりにもリアルで引き込まれました

ドアの横からヒョッコリのぞき見をしている気分♪

そしてドキワクがたまった時間(トキ)の

宝バコをあけてしまったみたい!!

あんじさん♡女優/モデル

ヨーロッパの亡霊に連れ回されて、私はなにかとんでもない長旅をしてしまったようだ。

5年か10年か、いやもっとそれ以上の。

本当にこれは90分の映画なのか?! …壮大なまやかに引つかかつたらしい。

黒沢 清さん♡映画監督

時空を自在に飛び越えて、私達はエルミタージュに漂う。

息をのむような絢爛豪華な美しさの中に入り込んでしまいました。

麻美れいさん♡女優



© 2002 Hermitage Bridge Studio and Egoli Tossell Film AG

エルミタージュ幻想

監督♦アレクサンドル・ソクローフ 脚本♦アナトリー・ニキーフ♦ロフ♦アレクサンドル・ソクローフ 撮影♦チルマン・ピョトナー
Starring♦Sergey Dreiden Maria Kuznetsova Leonid Mozgovoy
出演♦セルゲイ・ドレイデン♦マリヤ・クズネツワ 特別出演♦ワレリー・ゲルギエフ
製作会社♦「エルミタージュ・ヌイモスト」スタジオ(ロシア)「エゴロト・セルフィルム」(ドイツ) NHK(日本)
© 2002 Hermitage Bridge Studio & Egoli Tossell Film AG

ロシア♦ドイツ♦日本♦2002年♦カラー♦ハイビジョン♦96分 原題♦Russian Ark♦РУССКИЙ КОВЧЕГ
後援♦ロシア連邦大使館 ドイツ連邦共和国大使館 東京ドイツ文化センター 総協賛♦日本ヨーロッパ協会
推奨♦日口友好フォーラム21 協賛♦Lufthansa ルフトハンザ ドイツ航空
配給♦パンドラ♦03-3555-3987 http://www.pan-dora.co.jp

Russian Ark A Film by Alexander Sokurov
Director of Photography / Steadycam Operator: Tilman Büttner Visual concept and principal image design: Alexander Sokurov
Starring: Sergey Dreiden, Maria Kuznetsova, Leonid Mozgovoy
Music performed by Mariinsky Theatre Orchestra Conducted by Valery Gergiev Original Score: Sergey Yevtuschenko
Directed by Alexander Sokurov Screenplay by Anatoly Nikiforov Alexander Sokurov
Produced by Andrey Deryabin Jens Meurer Karsten Stötter Associate Producer: Alla Verlotsky
Supported by Ministry of Culture of the Russian Federation Department of the State Support for Cinematography Mitteldeutsche Medienförderung
Filmboard Berlin Brandenburg Kulturelle Filmförderung des Bundes Filmförderung Hamburg Filmbüro Nordrhein-Westfalen Kulturelle Filmförderung Sachsen-Anhalt
In co-production with Fora-Film M Koppmedia ASI Studio Seville Pictures Inc. WDR/ARTE arte NHK YLE/TV1 DR-1 Boje Buck Produktion
Development supported by Media Programme of the European Union Sponsored by Studio Babelsberg
A Hermitage Bridge Studio and Egoli Tossell Film AG production

www.cineplex.co.jp www.sonycinematic.co.jp

空前の美がいまここに。6/28(土)よりロードショー!! (上映終了日は各劇場によりお問合せください)

チケットぴあにて前売特別鑑賞券発売中!

1400円(当日一般の値)

*梅田ガーデンシネマ、心斎橋シネマ・ドゥのいずれかの劇場でお使いいただけます。

!!劇場窓口での販売はございません!!

▶ モーニングショー (朝1回のみ) 連日朝10:00

梅田スカイビル(空中庭園)タワーイースト4F

梅田ガーデンシネマ

06-6440-5977 www.cineplex.co.jp/

▶ 上映時間は劇場までお問合せください

ソニータワーB1F 06-6251-3789

心斎橋シネマ・ドゥ

www.sonycinematic.co.jp/

*各自由席 定員(74席)入替制 立見なし

*朝から全ての回の受付番号入り入場券を発売します(整理券ではありません)